



小須戸ARTプロジェクト2025

参加作家募集要項

主催：小須戸 ART プロジェクト実行委員会

■小須戸ARTプロジェクト2025

小須戸ARTプロジェクトは、2012年の水と土の芸術祭をきっかけに始まった、アーティスト・イン・レジデンスを中心としたアートプロジェクトです。これまでに、公募により選ばれた延べ20名を超えるアーティストやクリエイターが、小須戸地域の歴史的建造物である町屋に滞在しながら地域をリサーチし、滞在制作などにより成果の作品化と地域での展示公開を行ってきました。

今年度も、地域に滞在しての作品制作や今後の制作に向けた地域のリサーチに取り組むアーティスト・クリエイターの募集を行います。興味・関心のある皆さまのご応募をお待ちしています。

■実施体制

主催：小須戸ARTプロジェクト実行委員会

助成：公益財団法人内田エネルギー科学振興財団

■実施期間

○作家受入期間 8月中旬（応相談）～ 10月10日（金）

のうち希望する期間

受入期間中に地域を訪れ、今後の創作活動に向けたリサーチ活動（最低5日間程度を想定。活動日が連続する必要はありません。）を行ってください。

○成果発表期間 10月11日（土）～ 11月3日（月・祝）

制作した作品の展示公開等を行います。なお、公開日時は、展示会場毎に事前に調整します。

※原則として11月3日の展示公開終了後に搬出・撤収作業を行い、なるべく同日中に撤収を完了してください。

※会期初日にオープニング（参加作家による作品解説会等）を予定していますので、必ず参加をお願いします。

※同会期中に、2024年度リサーチ参加作家、森健太郎の成果発表も予定しています

■募集組数と募集条件

募集組数：最大2組程度

（リサーチ1組、リサーチ＋成果発表1組）

※応募にあたっては、以下の条件を満たす事をご確認ください。

1) 健康状態が良好であること。

2) 地域住民と良好な関係で交流ができること。

3) 現代美術やそれに類する分野で活動していること（経歴不問）。

4) 日本語での日常会話が、日常生活を行う上で支障なく可能であること（外国人の場合）。

5) 今後のプロジェクトの発展に向けて、今後も継続して地域に関わる意思があること。

■支援の内容

○制作費の支給 最大9万円（作家1組あたり）

・リサーチへの支援 4万5千円

次年度以降のプロジェクトへの参加・作品展示に向けて地域でのリサーチを実施するためにかかる謝礼や経費（交通費や滞に係る諸経費等を含む）として、4万5千円を支給します。

※リサーチのみでの参加の場合は、その結果をまとめたレポートの提出をお願いします。レポートの形式は指定しませんが、今後地域で行う公演・展示プランや新たなプロジェクトの提案等を含めた内容としてください。また、レポートはプロジェクトのWebサイト等で公開します。

※リサーチの成果を踏まえて来年度以降のプロジェクトで成果発表を行う場合は、別途必要経費の支援を行う予定です。

・成果発表への支援 4万5千円

成果発表期間中に展示公開等を実施する場合、その謝礼や材料費として、リサーチへの支援（4万5千円）に追加してさらに4万5千円を支給します（合計9万円）。

※プロジェクトへの参加にあたり支給額以上に経費がかかった場合には、超過分は作家側での負担をお願いします。

※支援金の支払いは原則として事業完了後の支払いです。ただし、希望があれば一部前払いも可能です。

○リサーチ・制作・展示拠点の貸し出し

希望する作家は、リサーチや制作・展示の拠点として「町屋ラボ」を無料で利用できます。

○自転車の貸し出し

作家の移動手段とするために、希望者には自転車を無料で貸し出します。

※小須戸本町通りの周辺は、徒歩圏内にスーパーやホームセンター等がありますが、公共交通が充実した地区ではありません。自動車を所有する場合は、自動車の利用を推奨します。自動車を利用する際は、来訪者用の駐車場が利用できます。

上記に加え、制作に危険が伴う場合、主催者側でイベント保険への加入を手配することがあります。ただし、健康保険及び傷害保険は作家側での加入をお願いします。主催者は、これらの保険加入などに関する責務を負いません。

※その他、自動車を利用しての買い出しや必要な送迎などについては随時ご相談ください。

■制作する作品について

当プロジェクトでは、以下のいずれかに該当する作品の制作・展示、そのために必要なリサーチの実施を前提としています。ジャンルは問いませんが、プロジェクトの主旨に反する判断されるものは、制作・展示をお断りする場合があります。

a) 地域の歴史や伝統産業等に関連したものや、そこからアイデアを展開させたもの

例：木瓜などの花卉栽培、小須戸織、舟運や機業の歴史、信

濃川、里山の自然環境等、地域の歴史や特性を読み取り、それを反映させた作品等

b) 町屋・空き家の再生や新たな魅力の発見につながるもの

例：展示会場となる町屋や店舗の空間を活用したインスタレーション作品等

c) 町屋・町並みの風情の演出につながるもの

例：町並みへ設置するのれんやオブジェ

d) 地域住民とのコミュニケーションや体験から生まれる物事を展開させた作品や、地域密着型のアートプロジェクト

■活動拠点

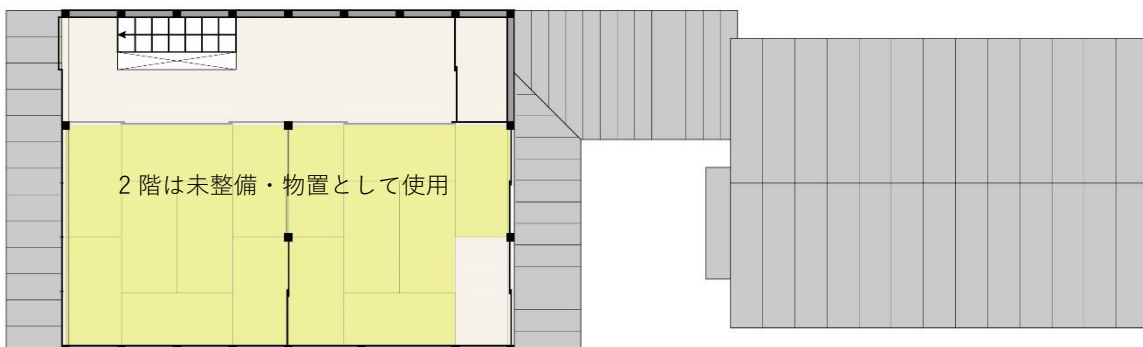
施設名称：町屋ラボ（旧古川邸）

施設所在：新潟市秋葉区小須戸3668

設備概要：小須戸 ART プロジェクト 2018 の際に整備・公開し

た町屋です。電気・水道使用可。ガスはありません。冷蔵庫、洗濯機、掃除機、電気炊飯器、電子レンジ、カセットコンロ、電気ポット、電気ヒーター、オイルヒーター有。寝室は二部屋、ベッドと布団有。トイレは汲み取り式。浴室も利用可（電気湯沸かし器+

2階



1階



図：町屋ラボ平面図

ポータブルシャワーによる簡易シャワー）ですが、なるべく付近の入浴施設（小須戸老人福祉センター（徒歩 5 分）や温泉健康センター花の湯館（自動車で 10 分、自転車で 30 ～40 分程度）等、どちらも有料）をご利用ください。

Wi-fi：町屋ラボにインターネット環境はありません。希望者には滞在中にポケット Wi-fi を有料で貸し出します（データ使用料に応じて最大で 3,000 円/月）。

工具類等：電動丸ノコ、スライド丸ノコ、インパクトドライバー（有線）、その他大工道具、電気工作用具等、簡単な工具類一式は揃えています。詳細はお問い合わせください。

周辺環境：江戸から大正時代にかけて信濃川の舟運で栄え、当時の町屋が建ち並ぶ商店街です。周辺は信濃川、新津丘陵の里山、蒲原平野の田園風景等、自然も豊かです。周辺では町屋を改装したカフェや店舗の出店、町並みに合わせた建築物の外観改修等も行われています。徒歩圏内にスーパー、ドラッグストア、ホームセンター、飲食店があります。



写真：町屋ラボ室内の様子（板の間・和室）

■展示会場について

小須戸本町通り周辺の町屋や店舗を展示会場候補として参加作家に紹介します。

参加作家は作家受入期間中に作品を制作・展示し、成果発表期間に作品を公開してください。作家は複数の展示会場の利用を希望できます。新作の展示のほか、過去作を持参しての過去作品展の会場としての利用もできます。また、過去作と滞在制作中に制作

した作品を組み合わせで展示することもできます。（最終的には主催者側で調整し、決定します。）

過去の展示会場については、プロジェクトWebサイト（<https://kosudoart.com>）をご確認ください。

＜会場の下見について＞

下見会の予定はありませんが、ご希望の方には可能な範囲で個別対応いたします。ご希望の方は、事前にメールでお問い合わせください。

- ・下見実施の有無は選考には影響しません。
- ・交通費等の経費は参加者の自己負担となります。
- ・ご不明な点はお問い合わせください。

■滞在中の活動について

- 1）原則として、オープニング（10/11）までに、作品の制作・展示を完了し、公開可能な状態としてください。
- 2）主催者は盗難等の被害の責任を負いません。盗難に遭わないような展示を心がけてください。
- 3）紹介する会場は、歴史的に価値のある町屋や、所有者の思いの詰まった店舗です。作品の制作・展示は、原則原状復帰が可能な範囲で行ってください。展示会場に何らかの手を加える場合、必ず事前に主催者及び会場の代表や所有者の許可を得てください。
- 4）店舗や生活の場として使われている町屋等で作品を制作・展示する場合、所有者の生活や店舗の営業を第一とし、その妨げとならない範囲で制作・展示を行ってください。
- 5）上記条件を満たすことができるならば、通いや日帰りでの制作・展示もできます。

■作品等に関する権利について

①制作した作品について

作家が本プロジェクトの補助を受け、滞在制作により制作した作品等の所有権及び著作権は、原則制作した作家にあるものとします。ただし、主催者は事業の広報・宣伝等のために作品等の写真・動画等を使用する権利を有します。

②本プロジェクトの補助を受けて購入し、各展示会場に設置した物品等

作家が本プロジェクトの補助を受けて購入し、展示会場等に設置した照明器具、展示棚、その他物品については、原則として作家が所有するものとします。ただし、展示終了後に撤去や廃棄が必要と判断される場合は、設置した作家が撤去や廃棄を行う責任を持つものとします。

■作品等の販売について

プロジェクト開催中、展示会場等に販売を委託して小品等の販売も可能です。販売を委託する場合は、条件を各会場と調整しますので、希望する旨を主催者へお知らせください。

■応募について

1) 応募に必要な書類

A) 応募申請書

指定様式に必要な項目を記載（提出必須）

B) 制作作品イメージ、展示イメージ

現時点で想定する制作作品や、展示演出方法がわかるイメージ、写真、スケッチ等

（A 4 サイズ 1 枚程度、様式任意。成果発表枠応募は提出必須、リサーチ枠応募の場合は提出任意。）

C) ポートフォリオ等、過去の制作作品、制作のテーマ等をまとめた資料

（様式任意、提出任意）

※データの提出方法は指定しません。メールでの添付の他、オンラインストレージサービスでの送信、クラウドサービスでのファイル共有などをご利用ください。

※提出データのサイズは、1ファイルあたり10MB以内としてください。

<応募申請書の入手 ダウンロードアドレス>

小須戸ART プロジェクトWebサイト（下記アドレス）の、「公募について」からダウンロードしてください。

<https://kosudoart.com>

2) 応募期間

2025年7月21日（月・祝）（同日中必着）

3) 応募方法：メールによる提出

※下記アドレス宛に、提出書類データをメールで提出してください。なお、メールの件名を「アートプロジェクト応募書類」としてください。

4) 応募先・問い合わせ

[kosudo.art \(@\) gmail.com](mailto:kosudo.art@gmail.com)

※問い合わせは上記電子メールの他、プロジェクトWebサイトの問い合わせフォームからお願いします。それ以外の手段でのお問い合わせは受け付けておりません。

■選考と結果の通知について

1) 選考方法

プロジェクト実行委員及びプロジェクトアドバイザー（南条嘉毅（美術家））による書類選考

2) 選考期日

2025年7月下旬から8月上旬に実施予定

3) 選考結果の通知

選考結果については、選考が済み次第（遅くとも8月上旬までを目途に）プロジェクトWebサイト、フェイスブックページ（<https://www.facebook.com/kosudoart>）等に掲載します。

審査結果についてはメールで個別通知いたしますが、審査結果に関するお問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。